



# 三角小だより

6月号

ふじみ野市立三角小学校  
令和7年6月1日



## 【学校教育目標】

- ゆめのある子  
・かしこい子 (知)  
・やさしい子 (徳)  
・たくましい子 (体)

## 1 回だけで終わらない学習法

校長 湯本 貴幸

「寒くないですね」から「暖かい」となり、最近では「暑い」とあいさつの中で使われる形容詞が変化し、夏の到来を感じさせます。今、子供たちは運動会の練習や準備で汗をかきながらがんばっています。学校としては、熱中症も含めて十分配慮して取り組んでまいります。

さて、5月には恒例行事の4年生から6年生を対象とした埼玉県学力・学習状況調査が行われました。本調査では、子供たちの現在の實力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感し、自信を深めていくことを大切にしています。「学習した内容をしっかり身につけているか」だけでなく、一人一人の学力がどれだけ伸びているのかも確認することもできます。今年度の結果は、2学期の個人面談で各担任から説明をします。学校と家庭で子供たちの成長について考えていく機会にしたいと思います。

その学力学習状況調査は、現学年の1学年前の問題が出されています。子供たちの中には、「何となく学んだ記憶はあるけれど、忘れてしまった」とやりながら感じた子もいたはずです。そして、それは普段行っている单元テストでも見受けられることです。授業はしっかり受けているけれど・・・ノートも、しっかりとっているけれど・・・いざテストとなると、忘れてしまって力を発揮できない子もいます。

実は、「人間は忘れてしまう生き物」と、ある学者が唱えました。ドイツの心理学者であるヘルマン・エビングハウスという人です。「エビングハウスの忘却曲線」は知っている方も多いと思います。エビングハウスは、1時間後には半分のことを忘れ、1日後には70%程度忘れ、1ヶ月後にはもうほとんど記憶に残っていないということです。教育に携わる者としてはいささか力を落としてしまいそうになりますが、このことを受け止め、忘れてしまうことを前提に学習を工夫していけばよいと考えた研究者がいます。その研究によると、24時間以内に10分の復習をすれば100%記憶が戻るそうです。そして1回目よりも2回目の方が容易になり、復習を重ねれば忘れにくくなるということです。学校教育でも授業の最後に行う「振り返り」が大切であると言われていますが、この1回の振り返りでは、十分とは言えません。それを補うためにも「覚えなおし」の習慣を身につけることが大切です。例えば、宿題をしっかりと行う。タブレットの「eライブラリ」、「すららドリル」で確認するのもよいでしょう。今日新しく学んだこと、知ったことをお風呂で口に出してみたり、おうちの方に話したりして聞いてもらうのもよいかもしれません。授業前に予習をして授業で学び直しをすることや、授業後に復習などで覚え直しすると学習効果が期待できます。自分にあった「1回だけで終わらない学習法」をこれから作ってほしいと思います。

※運動会は暑くなることが予想されます。暑さ対策どうぞよろしくお願いします。